

# 令和6年度 道徳教育 全体計画

学校番号	48	諏訪清陵 高等学校	全 課程	普通 科
------	----	-----------	------	------

学校教育目標
教育方針を土台に、時代を逞しく切り拓く創造性豊かな人間を育てていく ○個性・能力の伸長 ○自分で考え、積極的に発信できる高いコミュニケーション力 ○孟子「自反」の気概を備え、社会で活躍できるリーダーの育成 ○SSHを軸に据え、論理的で科学的な思考力を育むことにより探究力を育成
重点目標
◎生徒が課題発見力を育みながら、主体的・対話的で深い学びを実践する授業の追求 ○生徒のおのの進路実現を見据えた学習指導、キャリア教育・課題研究指導の充実 ○生徒の相談支援体制の充実拡大と、いじめや体罰、不登校、学校不応の未然防止 ○地域に開かれた学校づくりと社会に開かれた教育課程の実現

道徳教育の重点目標
①清陵生としての自覚を持ち、SSHを軸とした学校におけるすべての教育活動を通して、自律的・主体的な行動力を身に付ける。 ②教科活動、特別活動をはじめとした他者と協働する様々な活動を通して、集団の一員として、よりよい社会の創造に貢献できる資質・能力を養う。 ③自他の生命を尊重する態度を涵養し、一人一人の在り方生き方を尊重する高い道徳性を育成する。 ④すべての生徒が安心して学校生活を営むことができる環境をつくり、特にいじめは絶対に許さないという心を育てる。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
1年	学校内外での諸活動を通して、自律的な行動に努め、人間としてよりよく生きていくための基本となる態度を養い、資質・能力を高める。	基礎的・汎用的能力の育成からキャリア意識を高める活動に取り組む。 ○キャリアガイダンス ○文理選択	仲間とともに協力し合う活動の中で、他者と良好な人間関係を構築するとともに、自ら進んで行動する態度を身に付ける。 ○合唱コンクール ○人権学習	より自律的な行動に努め、集団の活動がよりよいものとなるよう努力する態度を養う。 ○部活動における望ましい人間関係の在り方について ○清陵祭
2年	主体的に行動する態度を養い、人間としての在り方や生き方についての自覚を高めることで、よりよい社会の創造に係る一員として、他者と協働する態度と行動力を身に付ける。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに取り組む。 ○進路探究 ○課題研究 ○進路別科目選択	校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 ○合唱コンクール ○平和学習（研修旅行事前学習）	校内組織における中心的な存在として主体的に行動し、目標に実現に向けて他者と協働する主体的かつ実践的な態度を身に付ける。 ○部活動内で行われる諸活動 ○清陵祭 ○学生会の運営
3年	社会の諸課題に対して主体的に解決していこうとする資質・能力を育成し、全ての人が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲と態度を涵養する。	よりよい社会を構成する一人としての自覚を持ち、互いを尊重し合い、多様な進路希望実現のために学び合う態度を養う。 ○進路探究 ○課題研究	社会の構成者としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ○合唱コンクール ○高校卒業後の在り方について	清陵生としてのみならず、社会を構成する一人としての自覚に基づき、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ○学生会の運営

各教科	
国語	言葉による見方・考え方を働かせ、他者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、道徳的心情や判断力を育む。
地理歴史	社会との関わりを意識して課題を追究することによって、社会の在り方や人間としての生き方について選択や判断する力を育む。
公民	持続可能な社会づくりの観点から地球規模の諸問題や地域課題を解決しようとする態度を育む。
数学	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を含め、創造性の基礎を養う。
理科	自然の事物・現象を探究する活動を通して、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。
保健体育	体育や保健の見方・考え方を働かせ、学習過程を通して、粘り強くやり遂げる力や一人一人の違いを大切にすることを養う。
芸術	芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
外国語	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考える態度を育成する。
情報	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方や態度を身に付ける。
総合的な探究の時間	探究の見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な取組をおとして、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現する態度を養う。

家庭・地域との連携	・校内の諸活動について、地域に開かれた学校として、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 ・家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成者としての自覚を高める。
-----------	--